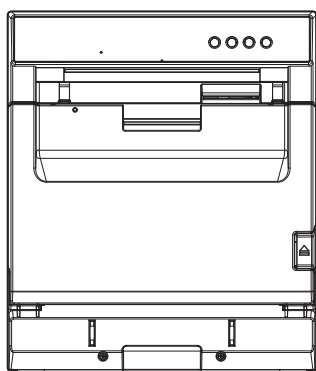


三菱デジタルカラープリンター

形名

CP-W5000D

取扱説明書



DIGITAL COLOR PRINTER

このたびは三菱デジタルカラープリンターをお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- ・ 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとききつとお役に立ちます。

特長

両面印画に対応

使用目的に応じて、片面だけでなく両面に印画することができます。

4種類の紙幅に対応

203 mm幅のプリント用紙で、203 mm、178 mm、173 mm、152 mm幅の印画サイズを出力できます。

多様なプリントサイズに対応

小さいもので152 mm×102 mm、大きいもので203 mm×305 mmと、様々な用途に応じた印画サイズでプリントできます。印画サイズの詳細は、「仕様」(P.38ページ)をご覧ください。

300dpiの高解像度

画像データを鮮明に再現する300dpiの高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像もシャープに美しくプリントします。

大容量プリント

1ロールあたりのプリント枚数は203 mm×305 mmで250枚です。

高画質・高濃度プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調のフルカラー高精細・高濃度プリントが可能です。

高速プリント

Hi-Speed USB (Ver.2.0) インターフェイス対応

本機について



静電気放電 (ESD)：静電気による障害 (機器故障など) の可能性があるので注意してください。



交流：電源電圧は交流です。



OFF/ON：電源の切り離し/接続を表します。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償については、ご容赦願います。

著作権について

ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

特長	2
本機について	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4
各部のなまえとはたらき	8
前面・天面・側面	8
後面	9
付属品	10
開梱	11
使用前の準備	11
使用前の準備の流れ	11
設置する	12
電源コードを接続する	12
インクリボン（別売品）を入れる	13
プリント用紙（別売品）を入れる	15
ペーパートレー（付属品）を取り付ける / 取り外す	18
プリンタードライバーをインストールする	20
パーソナルコンピューターなどを USB 接続する	20
使いかた	21
本機の取り扱いについて	21
電源の入 / 切	22
操作ボタンと液晶ディスプレイ	23
液晶ディスプレイの表示の説明	24
切りくずを捨てる時は	25
インクリボン / プrint用紙の取り扱いについて	26
インクリボンを交換するときは	26
プリント用紙を交換するときは	26
お手入れ	27
本機のお手入れ	27
本機内部のクリーニング	27
消耗部品について	30
故障かな？と思ったら	31
前面インジケーターと液晶ディスプレイの表示と処置	31
修理を依頼する前に	33
紙づまりの処置	34
インクリボンが切れたときの処置	35
保証とアフターサービス	36
本機を移動・輸送するときは	37
本機を移動するとき	37
本機を輸送するとき	37
別売品	37
仕様	38

安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	-----------------------------------	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。







	絶対に行わない		絶対に水にぬらさない		手はさみ注意
	絶対に分解・修理はしない		必ず指示に従って行う		高温注意
	絶対に触れない		必ず電源プラグをコンセントから抜く		感電注意
	絶対にぬれた手で触れない		必ずアース線を取り付ける		

警告

設置・移動

	不安定な場所に置かない (ぐらついたり変形した台の上や傾いた場所など) 落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。		電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する 異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因になります。
禁止		電源プラグがすぐ抜ける場所	

取り扱い

	故障や煙が出ているとき、変な音や臭いがするときは使わない 使用禁止 火災・感電の原因になります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。		分解や改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、触ると感電の原因になります。 また、けが・火災の原因になります。
使用禁止			感電注意 内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
	本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない 使用禁止 火災・感電の原因になります。		異物を入れない (特にお子様にご注意を) 小さな金属物などを本機の上に置かない 用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因になります。 万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
使用禁止		禁止	
	本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない (特にお子様にご注意を) 禁止 バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。		
禁止			

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

警告

取り扱い



水ぬれ
禁止

水でぬらさない

(特に雨天時の使用などにご注意を)

水の入った物、花瓶やコップ、植木鉢などを本機の上に置かない

内部に水が入ると、火災や感電の原因になります。

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



禁止

ねじなど小さな付属品は幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する原因になります。

万一飲み込んだ場合は、医師に相談してください。



接触禁止

雷が鳴り出したらプリンターおよび電源プラグには触れない

感電の原因になります。



プラグを
抜く

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

電源・電源コード



傷つけ
禁止

電源コードを傷つけない

- 重いものを載せない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 束ねない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



付属の
電源コード

付属品の電源コードを使用する

付属品以外の電源コードを使うと、火災の原因となります。

付属品の電源コードは、本機専用です。決して他の製品に使用しないでください。



確実に
接地する

確実に接地する

火災・感電の原因になります。

万一の感電防止のため、アース線は必ずアース専用端子(アース付きコンセント)に接続してください。

ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けしないでください。

アース専用端子がない場合には、お買上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料で、第二種電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています。)



ぬれ手
禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



禁止

配線器具の定格電流を超えない
たこ足配線をしない

配線器具の定格電流を超えて使用すると、火災・感電の原因になります。



漏電ブレーカー
付きコンセント

電源コードは、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントにつなぐ

漏電すると、火災・感電の原因になります。



交流 100V

正しい電源電圧(交流 100V)で使う

交流 100V以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

⚠ 注意

設置・移動



設置禁止

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 自動車内など、振動が多いところ
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生する場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 製氷倉庫など、低温になる場所
- 海岸近くなど、塩分の多いところ

ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災・感電の原因になります。
(キャビネットが変色・変形を起こす原因になることもあります。)



禁止

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

接続したまま本機を移動しない

電源コードが傷ついて火災・感電の原因になります。

また、つまずいてけがの原因になります。

電源コードや接続ケーブルを外したことを確認してから、移動してください。



禁止

本機の前面を持って運ばない

前面カバーボックスが外れて本機が落下し、けがの原因になります。

取り扱い



禁止

プリント用紙排出口に手を入れない
(特にお子様にご注意を)

プリント出口内部には用紙を切断するためのカッターがありますので、手を切るなどのけがの原因になります。



接触禁止

紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因になります。



高温注意



禁止

前面カバーボックス、スライドドアを開けたままにしない

ぶつかって、けがの原因になります。



禁止

ペーパーフランチをプリント用紙に取り付けるときは、手や指をはさまないようにする

けがの原因になります。



手はさみ注意



禁止

前面カバーボックス、スライドドア、ペーパートレーを上から押さえない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。



接触禁止

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない

サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない



高温注意

高温になっている場合があり、触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)



確実に閉める

スライドドアは、確実に押し込んで閉める

スライドドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにスライドドアが開き、けがの原因になります。



手はさみ注意

スライドドアを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

⚠ 注意

取り扱い



**前面カバーボックスを開閉するとき
は、ペーパートレイを外す**

本体から
外す

本機からペーパートレイが脱落し、けがの
原因になります。



プリント用紙を置くときは立てて置く

立てて置く

机上などに横向きに置くと転がって落下
し、けがの原因になります。



日本国内専用です

火災・感電の原因になります。

国内専用

この製品は、日本国内用に設計されていま
すので、国外では使用できません。また、ア
フターサービスもできません。

This appliance is designed for use
in Japan only and the contents in
this document cannot be applied in
any other country. No servicing is
available outside of Japan.

電源・電源コード



電源プラグを持って抜く

プラグを
持つ

電源コードを引っ張ると傷がつき、火災・
感電の原因になります。



電源プラグは根元まで差し込む

根元まで
差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電の原
因になります。

お手入れ・保管



**お手入れの際は、電源プラグをコンセ
ントから抜いて行う**

プラグを
抜く

感電の原因になります。



**長期間使用しないときは、電源プラグ
をコンセントから抜いておく**

プラグを
抜く

火災の原因になります。



**5年に一度は、内部の掃除を販売店に
依頼する**

内部掃除

内部にほこりがたまったまま使うと、火災
の原因になります。

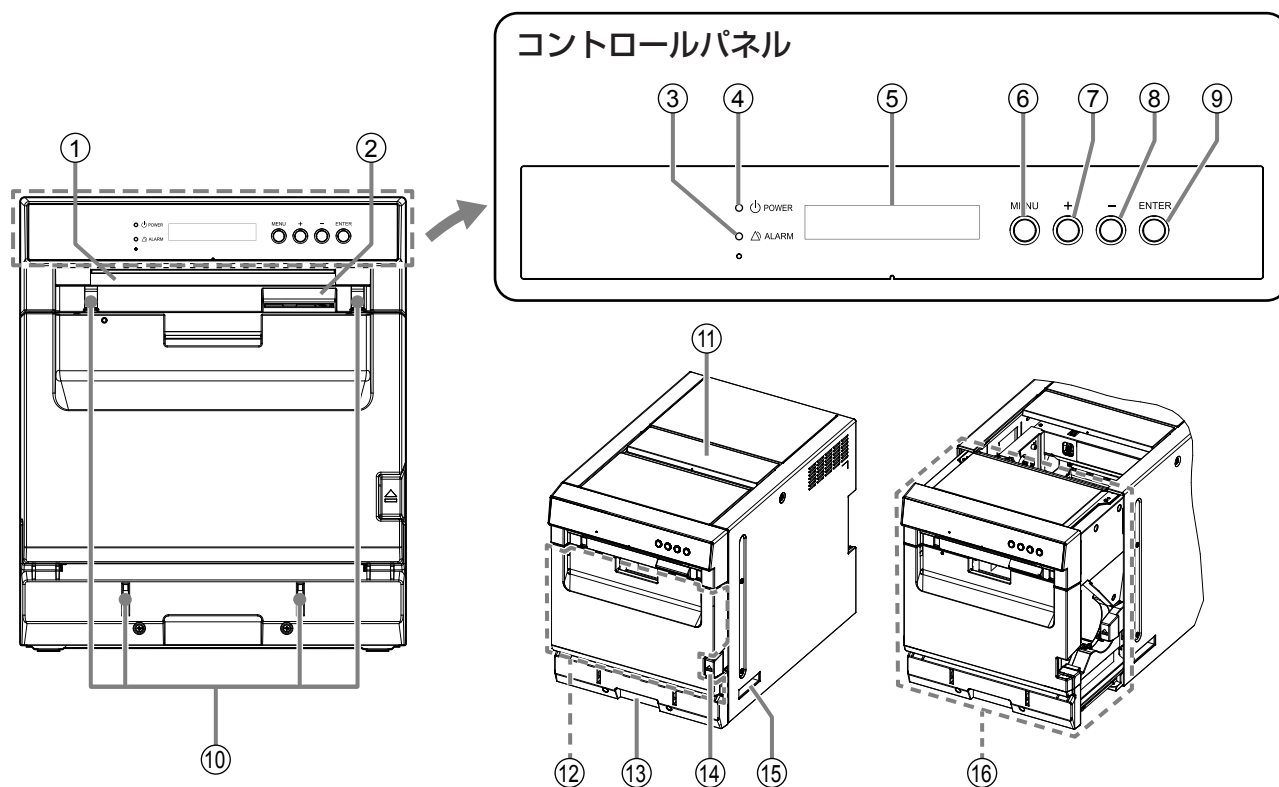
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが
効果的です。

内部掃除費用については、販売店にご相談
ください。

各部のなまえとはたらき

前面・天面・側面

※ [] 内は、液晶ディスプレイに表示される名前です。



- ① **プリント出口**
プリントされた用紙の出口です。
- ② **縦カッターゴミ出口**
マージンカット時に生じる切りくずの出口です。
- ③ **ALARM インジケーター (△)**
アラーム
紙づまりのときや、スライドドア、前面カバーボックスが開いているときなどに、点灯または点滅します。(※ 31 ページ)
- ④ **POWER インジケーター (⏻)**
パワー
電源が入ると、点灯します。通常はグリーンに点灯しますが、本機の状態によって点滅またはオレンジに点灯します。(※ 31 ページ)
- ⑤ **液晶ディスプレイ**
本機の状態を表示したり、メニューを表示して各種機能の設定に使います。(※ 24、31 ページ)
- ⑥ **MENU ボタン**
メニュー
液晶ディスプレイにメニューを表示するときに押します。また、液晶ディスプレイにメニューを表示しているときに使います。(※ 23 ページ)
- ⑦ **+ ボタン、**
- ⑧ **- ボタン**
液晶ディスプレイにメニューを表示しているときに使います。(※ 23 ページ)
- ⑨ **ENTER ボタン**
エンター
液晶ディスプレイにメニューを表示しているときに使います。(※ 23 ページ)
また、前面カバーボックスのロックを解除するときに押します。
- ⑩ **ペーパートレイ取り付け穴**
ペーパートレイを保持するための穴です。
- ⑪ **天面カバー [T.DOOR]**
このカバーを開けて、サーマルヘッドやプラテンローラーの清掃をします。
- ⑫ **前面カバーボックス [F.DOOR]**
マージンカット時に生じる切りくずを内部にためます。プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめにくずを捨ててください。

お願い

- プリント中は前面カバーボックスの取っ手を引かないでください。動作不良の原因となります。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

各部のなまえとはたらき

⑬ スライドドア用取っ手

リリースボタンでロックを解除したあと、この取っ手を引いてスライドドアを引き出します。

⑭ リリースボタン(△)

スライドドアのロックを解除します。

⑮ 本機運搬用取っ手

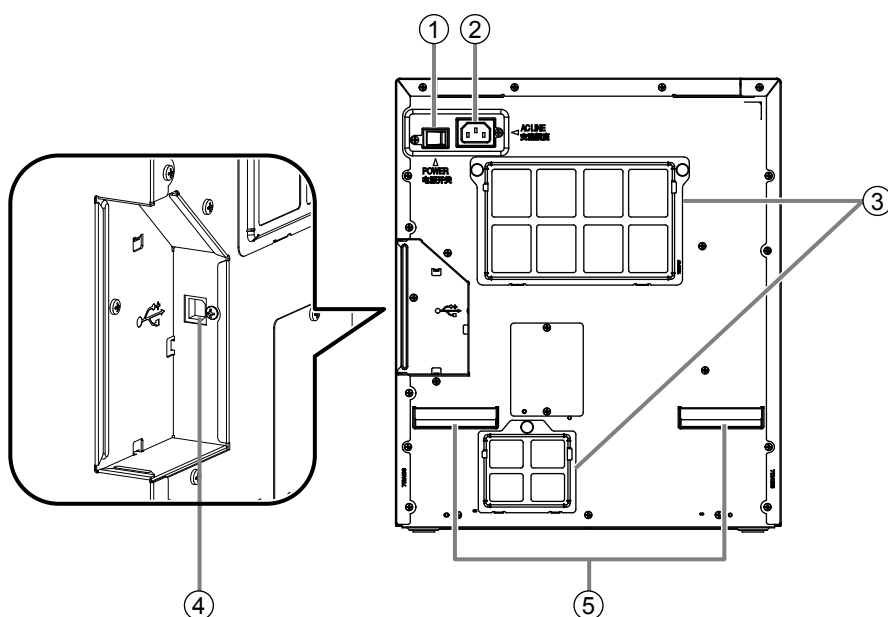
本機を持ち運ぶときは、この取っ手と後面の本機運搬用取っ手を持ってください。

⑯ スライドドア [S.DOOR]

プリント用紙やインクリボンを入れるときに開けます。

リリースボタンでロックを解除したあと、スライドドア用取っ手を引いて、引き出します。

後面



① パワー POWERスイッチ

本機の電源を入/切します。

② エーシー ライン AC LINEソケット

電源コード(付属品)を接続するソケットです。確実に接続してください。(P.12ページ)

③ 吸気口/フィルター

本機内部を冷却するための吸気口で、取り外し可能なフィルターが付いています。(P.27ページ)

④ ユーエスピー USB端子

USBケーブルを接続します。(P.20ページ)

⑤ 本機運搬用取っ手

本機を持ち運ぶときは、この取っ手と側面の本機運搬用取っ手を持ってください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

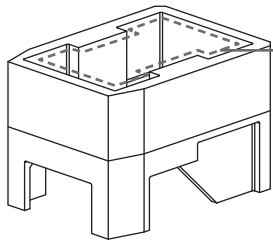
その他

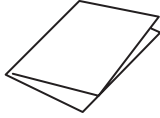


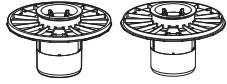
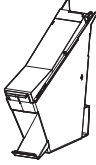
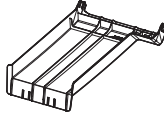
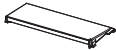

もくじ

各部のなまえとはたらき

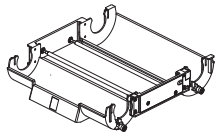
付属品

付属品は、クッションの上部に入っています。万一足りない部品がある場合は、販売店にご連絡ください。



 クイックセット アップ(1)	 CD-ROM(1)	 電源コード(1)	 ペーパーフランジ (2)
 ペーパートレイ (1)	 スリットボックス (1)	 ペーパートレイ用 ブラケット(1)	 ペーパートレイ用 アタッチメント(1)
 3ピン→2ピン変換 アダプター(1)			

工場出荷時、本機内部に
収納



インクカセット
(1)

お願い

- 初回のご使用時は、ペーパーフランジ、インクカセットの保護シートを取り除いてください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

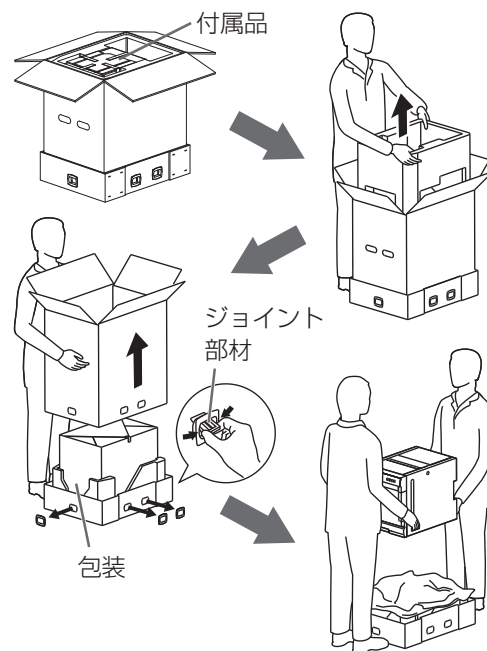
その他

もくじ

開梱

本機は、下記の手順で箱から取り出してください。付属品がそろっているか、あわせて確認してください。

- 1 箱を開け、付属品を取り出す
- 2 クッション上の付属品がそろっているか確認する
付属品の内容については、「付属品」(P.10ページ)をご覧ください。
- 3 クッションを取り出す
- 4 箱の上部と下部を留めているジョイント部材(6個)をつまんで外し、箱の上部を取り外す
- 5 包装を取り除く
- 6 本機を取り出す
図のように、本機の側面と後面の本機運搬用取っ手を持って、取り出します。



お願い

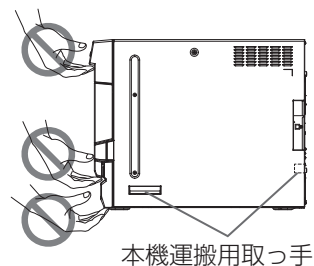
- 本機の質量は、約29kgありますので、取り扱いには気を付けてください。
本機を取り出したり移動するときは、必ず2人で作業してください。

注意



本機の前面を持って運ばない
前面カバーボックスが外れて本機が落下し、
けがの原因になります。

- スライドドアが確実に閉じていなかったり、誤ってリリースボタンに触れた場合、
スライドドアが飛び出して、けがや故障の原因になります。



本機運搬用取っ手

使用前の準備

使用前の準備の流れ

設置する	(P.12ページ)
電源コードを接続する	(P.12ページ)
インクリボン(別売品)を入れる	(P.13ページ)
プリント用紙(別売品)を入れる	(P.15ページ)
ペーパートレー(付属品)を取り付ける/取り外す	(P.18ページ)
プリンタードライバーをインストールする	(P.20ページ)
パーソナルコンピューターなどをUSB接続する	(P.20ページ)

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

設置する

警告 注意

「安全のために必ず守ること」の
「設置・移動」(4、6ページ)の内容も、
よくお読みください。

- 本機は、水平な場所に置いてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。
- 輸送時の保護のため、多くの箇所に保護シートを貼り付けています。ご使用前に、保護シートを取り除いてからご使用ください。

電源コードを接続する

警告



付属品の電源コードを使用する

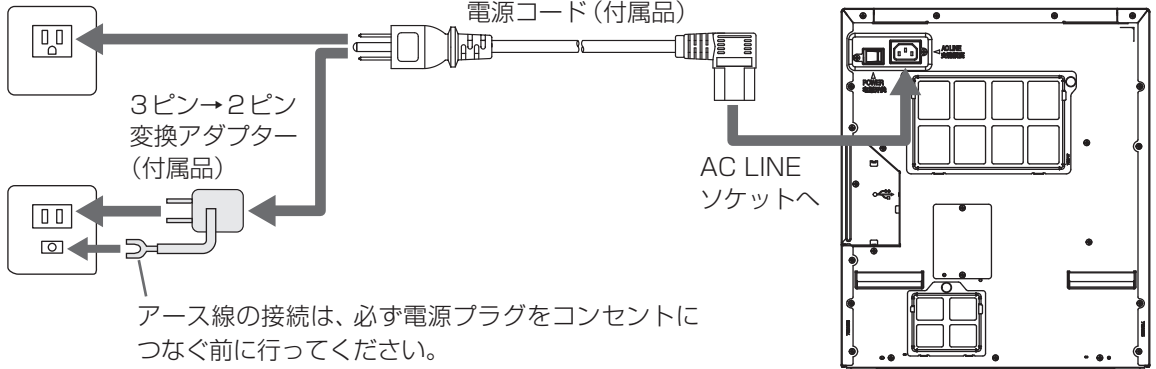
付属品以外の電源コードを使うと、火災の原因となります。

付属品の電源コードは、本機専用です。決して他の製品に使用しないでください。

警告 注意

「安全のために必ず守ること」の
「電源・電源コード」(5、7ページ)の内容も、
よくお読みください。

交流 100V
アース付き
コンセントの場合



交流 100V
アース専用端子
付きコンセントの
場合

アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

- 万一の感電防止のため、アース線は必ずアース専用端子(アース付きコンセント)に接続してください。ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けしないでください。アース専用端子がない場合には、お買上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料で、第二種電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています。)
- 電源コードは、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントにつないでください。

インクリボン (別売品) を入れる

本機にインクカセット (付属品) を装着する前に、インクリボン (別売品) をインクカセットに組み込んでください。インクカセットは、工場出荷時には本機内部に収納されています。

お願い

- インクカセットを平らなところに置いて、インクリボンを組み込んでください。
- インクリボンは、ほこりのない場所で組み込んでください。インクリボンにほこりやゴミが付着すると、プリント不良の原因になります。
- インクカセットの取り出し時や挿入時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

お知らせ



サーマルヘッドは、静電気に弱いので気を付けてください。
静電気が発生した状態でサーマルヘッドに触れると、故障する場合があります。

注意



接触禁止



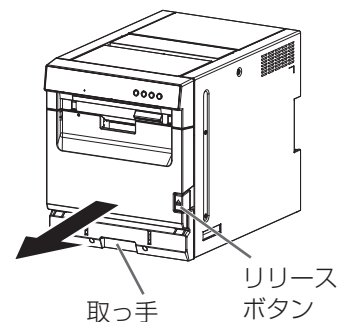
高温注意

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない
サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外
は触れない

高温になっている場合があります。触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)

- 1 リリースボタンを押し、スライドドア下部の取っ手を引いて、
スライドドアを引き出す
スライドドアが止まるまで引き出します。



注意



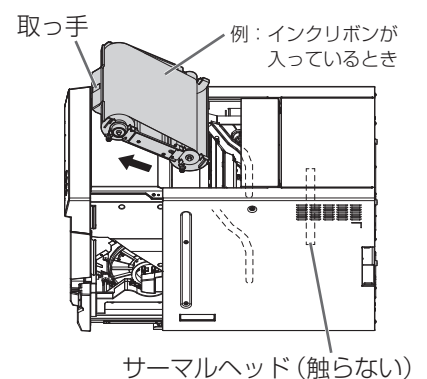
禁止

前面カバーボックス、スライド
ドアを上から押さえない
バランスがくずれて倒れたり、落下
して、けがの原因になります。

- 2 インクカセットを取り出す
インクカセットの取っ手を持って、取り出してください。

お願い

- インクカセットは、ゆっくりと取り出してください。
挿入口から落としたりすると、本機や付属品の破損の原因になります。



使用前の準備

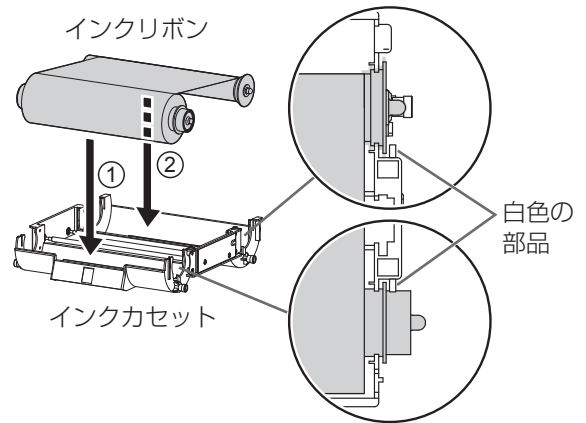
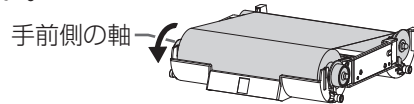
③ 右図のようにインクリボンインクカセットに入れる

(交換する場合は、先に古いインクリボンを取り出す)

インクリボンとインクカセットの方向が正しいか確認してください。

インクリボンの軸が、インクカセットの軸受け部に確実に入っていることを確認してください。

インクリボンがたるんでいるときは、手前側の軸を回してたるみを取ってください。

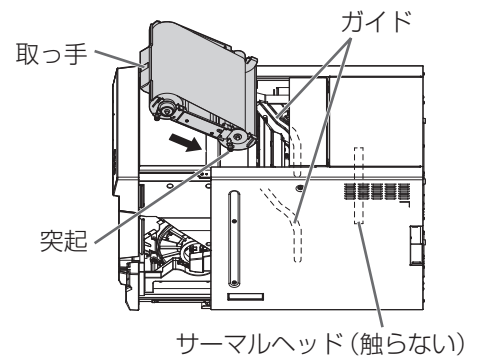


④ インクリボンの入ったインクカセットを、図の位置に挿入する

インクカセット両側の突起をスライドドア内側の左右のガイドに合わせ、斜めにすべりこませるように挿入してください。
インクカセットの取っ手を持って、奥まで挿入してください。

お願い

- インクカセットは、ゆっくりと挿入してください。
挿入口から落としたりすると、本機や付属品の破損の原因になります。

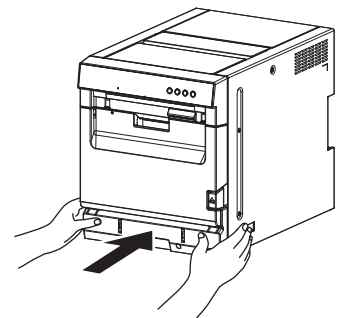


⑤ スライドドアを押して閉める

側面両側の取っ手を持ち、両手でスライドドアの前面を押してください。

お願い

- スライドドアを閉めるとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
- スライドドアを閉めたとき、ALARMインジケータが点灯した場合は、正しく装着されていない可能性があります。
スライドドアを開けて正しく装着されているか確認してから、再度スライドドアを閉めてください。



⚠ 注意



確実に閉める



手はさみ注意

スライドドアは、確実に押し込んで閉める

スライドドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにスライドドアが開き、けがの原因になります。

スライドドアを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

以上で、インクリボンの装着は完了です。

プリント用紙を入れる場合は、引き続き [15 ページ](#) をご覧ください。

お願い

- プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめに前面カバーボックスの切りくずを捨ててください。
インクリボンとプリント用紙を交換するときは、必ず前面カバーボックスの切りくずを捨ててください。
- インクリボンとプリント用紙を交換するときは、サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングも行ってください。クリーニングについては「[本機内部のクリーニング](#)」([27 ページ](#)) をご覧ください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

プリント用紙 (別売品) を入れる

ペーパーフランチ (付属品) をプリント用紙へ取り付ける

お願い

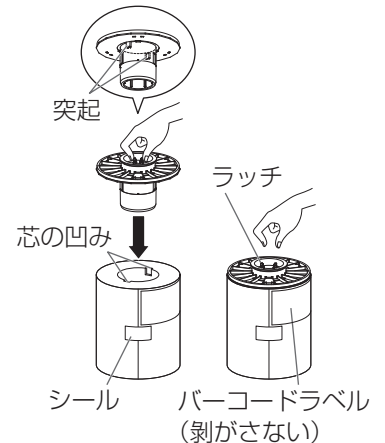
- プリント用紙のバーコードラベルは、剥がさないでください。

1 ペーパーフランチ (付属品) をプリント用紙の両側に取り付ける

(プリント用紙を交換する場合は、先にペーパーフランチをプリント用紙から外す)

青色のペーパーフランチのラッチをつまみ、プリント用紙の芯の凹みとペーパーフランチの突起を合わせ、ペーパーフランチをプリント用紙に挿入します。このとき、ペーパーフランチとプリント用紙の間に隙間がないように挿入します。

次に、黒色のペーパーフランチのラッチをつまみ、プリント用紙の反対側に挿入します。



お願い

- ここでは、まだプリント用紙のシールは取らないでください。
- プリント用紙をたるませないでください。たるませたままプリントすると、プリント不良の原因になります。
- プリント用紙やインクリボンの表面を、指紋やほこりなどで汚さないでください。プリント画質の劣化や紙づまりの原因になります。

注意



禁止



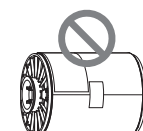
手はさみ
注意

ペーパーフランチをプリント用紙に取り付けるときは、手や指をはさまないようにする
けがの原因になります。

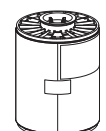


立てて置く

プリント用紙を置くときは立てて置く
机上などに横向きに置くと転がって落下し、
けがの原因になります。



横向きに置く

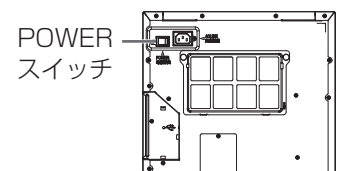


立てて置く

プリント用紙を装着する

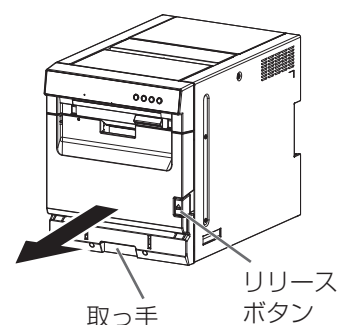
1 本機の電源が切れている場合は、本機後面のPOWERスイッチを押して、本機の電源を入れる

コントロールパネルのPOWERインジケーターが、オレンジ点灯からグリーン点灯に変わるまでお待ちください。



2 リリースボタンを押し、スライドドア下部の取っ手を引いて、スライドドアを引き出す

スライドドアが止まるまで引き出します。



注意



禁止

前面カバーボックス、スライドドア、ペーパートレイを上から押さえない
バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因になります。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

使用前の準備

③ コントロールパネルのENTER ボタンを長押しして、前面カバーボックスのロックを解除する

④ 前面カバーボックスの取っ手に手をかけて、前面カバーボックスを手前に開く

そのあと、前面カバーボックスを持ち上げるようにして取り外す
前面カバーボックスを無理に引っ張らないでください。
前面カバーボックス内に切りくずがある場合は、切りくずを捨ててください。

お願い

- 切りくずがたまると前面カバーボックスが重くなるため、前面カバーボックスを取り外すときは前面カバーボックスを落とさないよう気を付けてください。

⑤ ペーパーフランジ (付属品) を取り付けしたプリント用紙を、本機に取り付ける

(プリント用紙を交換する場合は、先に本機からプリント用紙を取り出してから、ペーパーフランジを新しいプリント用紙に付け替える)

青色のペーパーフランジが左にくるように取り付けます。
プリント用紙が、下までしっかりと入っていることを確認してください。

ペーパーフランジのプリント用紙への取り付けかたは、[15 ページ](#)をご覧ください。

お願い

- プリント用紙は、ゆっくりと取り付けてください。本機内部に落としたりすると、本機や付属品が破損する場合があります。

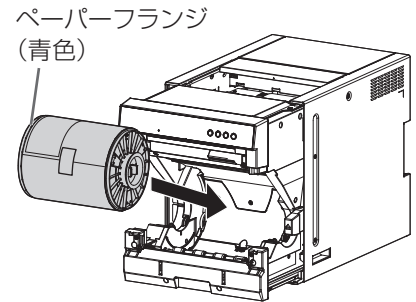
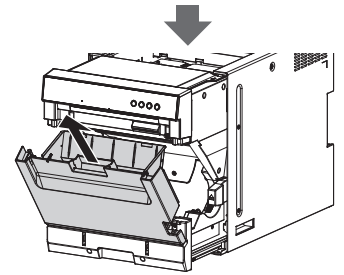
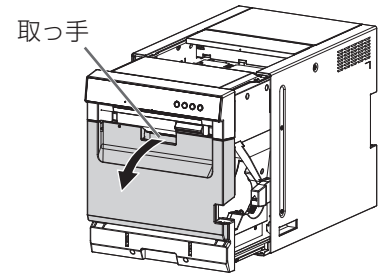
⑥ プリント用紙のシールを剥がしてから、右図のようにプリント用紙をローラーの間に挿入し (※)、ペーパーフランジを矢印の方向に回す

※ スライドドア下部手前の青色インジケータが点灯するところまで挿入してください。

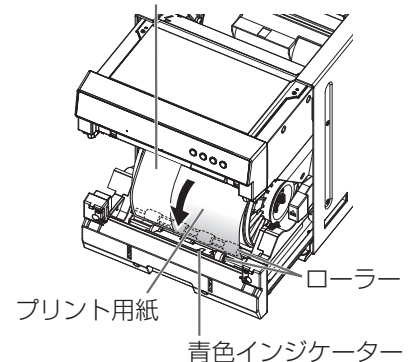
シールは、必ずプリント用紙をローラーの間に通す前に剥がしてください。
プリント用紙が、斜めにならないように挿入してください。

お願い

- ローラーを汚さないように気を付けてください。ローラーが汚れていると、プリント不良の原因になります。
- プリント用紙を取り外すときは、ペーパーフランジを手前に引きながら持ち上げてください。
- 必ず電源を入れた状態でプリント用紙を入れてください。
- たるんだプリント用紙は、よく巻き取ってください。たるんだままでスライドドアを閉じると、プリント用紙が破損する場合があります。



バーコードラベル (剥がさない)



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

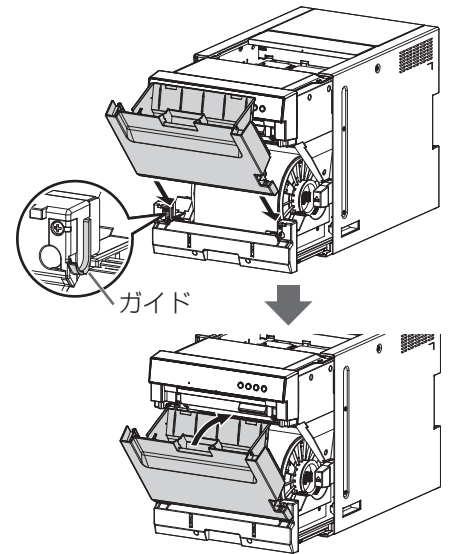
使用前の準備

7 前面カバーボックスを取り付け、閉じる

前面カバーボックスの両側下部の突起を、スライドドア下部両側のガイドに合わせて挿入し、前面カバーボックスをしっかりと閉じてください。

お願い

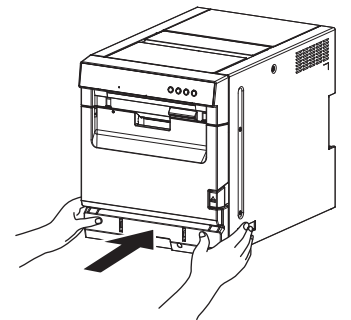
- 前面カバーボックスの爪が掛かっていることを、確認してください。前面カバーボックスが正しく取り付けられていないと、紙づまりの原因になります。



8 スライドドアを押して閉める

側面両側の取っ手を持ち、両手でスライドドアの前面を押してください。

電源が入った状態で新しいプリント用紙を取り付けてスライドドアを閉めると、自動的にプリント用紙がフィード&カットされます。プリント用紙が2枚出てきたあと、コントロールパネルの液晶ディスプレイに「READY[8 × 12]」が表示されます。



お願い

- スライドドアを閉めるとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
- スライドドアを閉めたとき、ALARMインジケータが点灯した場合は、正しく装着されていない可能性があります。スライドドアを開けて正しく装着されているか確認してから、再度スライドドアを閉めてください。

お知らせ

- フィード&カットを開始する前の初期化に少し時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。

⚠ 注意



確実に
閉める



手はさみ
注意

スライドドアは、確実に押し込んで閉める

スライドドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにスライドドアが開き、けがの原因になります。

スライドドアを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

以上で、プリント用紙の装着は完了です。

お願い

- プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめに前面カバーボックスの切りくずを捨ててください。インクリボンとプリント用紙を交換するときは、必ず前面カバーボックスの切りくずを捨ててください。
- インクリボンとプリント用紙を交換するときは、サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングも行ってください。クリーニングについては「[本機内部のクリーニング](#)」(☞ 27ページ)をご覧ください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

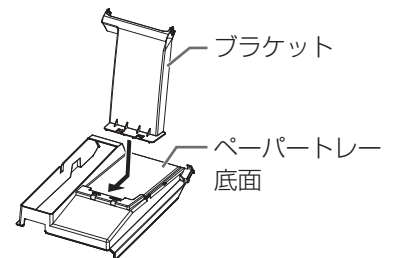
使用前の準備

ペーパートレー（付属品）を取り付ける / 取り外す

本機前面にペーパートレー（付属品）を取り付けることができます。

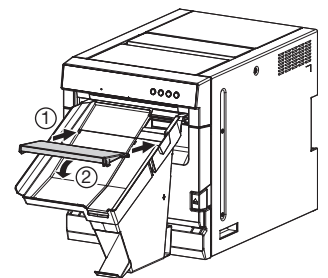
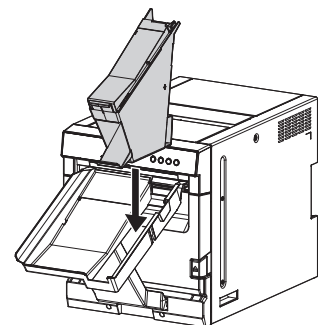
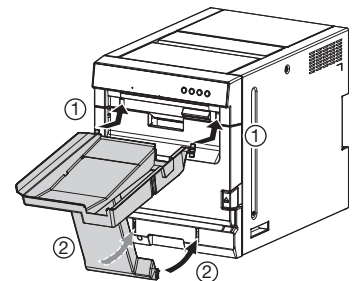
ペーパートレーを組み立てる

本機前面にペーパートレー（付属品）を取り付ける場合は、右図のように組み立ててから取り付けます。
ペーパートレー（付属品）の底部にブラケット（付属品）を挿入します。



ペーパートレーの取り付けかた

- 1 ペーパートレー上部左右のフックを、本機前面上部のトレー挿入口に奥まで差し込む (①)
- 2 図のようにトレイを下方に回転させながら、トレイ下部のフックを本機前面下部のトレー挿入口に差し込む (②)
- 3 ペーパートレーにスリットボックス（付属品）を挿入する
- 4 プリント用紙が 203mm × 152mm 以下の場合は、ペーパートレーにアタッチメント（付属品）を①、②の順で取り付ける



お願い

- ペーパートレーの上部フックや下部フックを無理に差し込まないでください。フックが破損し、ペーパートレーが落下する原因になります。

⚠ 注意



禁止

前面カバーボックス、スライドドア、ペーパートレーを上から押さえつけない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

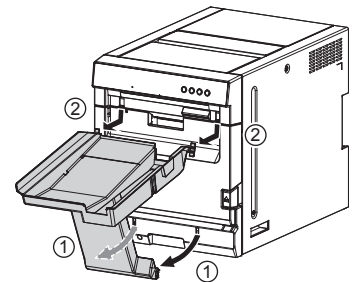
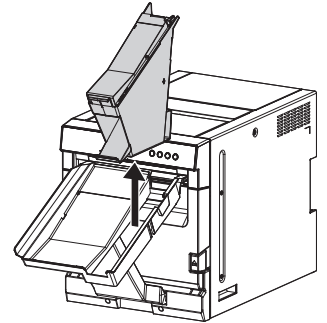
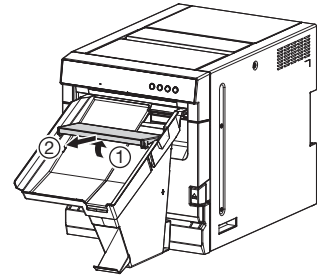
その他

もくじ

使用前の準備

ペーパートレイの取り外しかた

- 1 ペーパートレイにアタッチメントを取り付けている場合は、アタッチメントを①、②の順で取り外す
- 2 ペーパートレイからスリットボックスを持ち上げて外す
スリットボックスを外したときは、必ず切りくずを捨ててください。
- 3 ペーパートレイ下部を手前に引くようにしてフックを外す (①)
- 4 図のようにトレイを回転させ、ペーパートレイ上部左右のフックを本機前面から外す (②)



お願い

- ペーパートレイを無理に外さないでください。左右方向に回転させたり、よじったりしないでください。フックが破損し、ペーパートレイが落下する原因になります。
- スリットボックス内の切りくずは、こまめに捨ててください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

使用前の準備

プリンタードライバーをインストールする

本機とパーソナルコンピューターなどを接続する前に、接続する機器にプリンタードライバーをインストールします。

接続したパーソナルコンピューターのデータを本機でプリントするためには、プリンタードライバーが必要です。CD-ROM (付属品) には、Windows[®] が動作するコンピューター用のプリンタードライバーが入っています。

■ 動作環境

Windows[®] 7 (32ビットおよび64ビット)、Windows[®] 8 (32ビットおよび64ビット) 日本語版上で動作可能です。

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

■ プリンタードライバーのインストール方法

くわしくは、CD-ROM (付属品) に入っている「プリンタードライバーガイド」をご覧ください。

お知らせ

- プリンタードライバーの最新バージョンとプリンター情報を確認するには、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/products/visual/lineup/printer/photo/index.html>

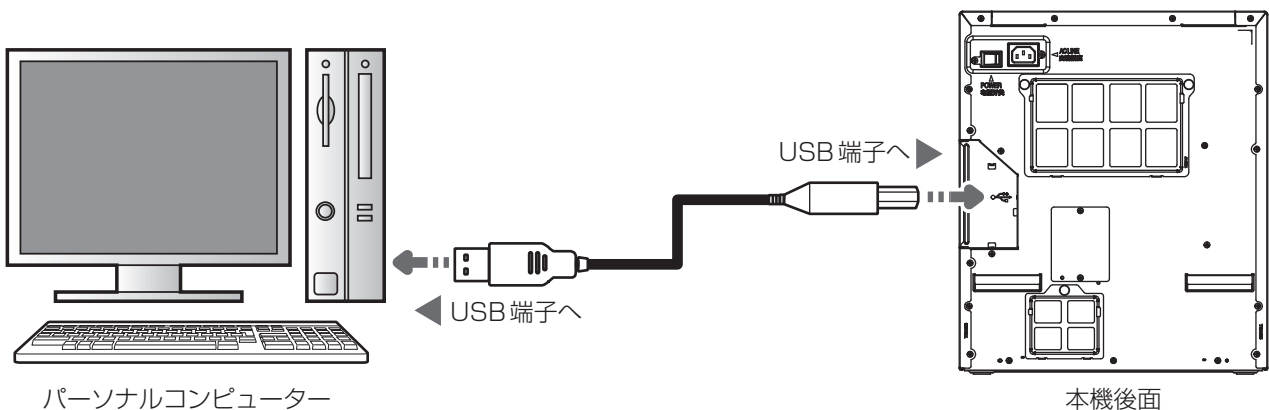
パーソナルコンピューターなどを USB 接続する

本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくお読みください。

パーソナルコンピューターとの接続

1 USB ケーブルで、本機とパーソナルコンピューターを接続する

本機とパーソナルコンピューターを以下のように接続します。



お知らせ

- 本機には USB ケーブルは同梱されていません。市販の 2m 以下の USB2.0 認証ケーブルをご使用ください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

本機の取り扱いについて



「安全のために必ず守ること」の
「取り扱い」(4~7ページ)の内容も、
よくお読みください。

■ 取り扱い

- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因になります。
- 前面カバーボックスやスライドドアを開けたとき、上から押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因になります。
- ペーパートレイを取り付けている場合は、前面カバーボックスやスライドドアを開ける前にペーパートレイを取り外してください。

■ プリント中は

- プリント用紙やインクリボンに付着したゴミやほこり、あるいは低・高温時における変形等のため、印画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。
- 本機を動かしたり、前面カバーボックスを開けたりしないでください。プリント不良の原因になります。
- プリント用紙を引っ張らないでください。プリント用紙排出時は、排出が完了するまでプリント用紙に触れないでください。プリント不良やエラーの原因になります。
- 本機内部の温度によっては、プリント途中で一時停止することがあります。(POWERインジケーターが緑色に点滅します。)この場合、しばらくすると自動的にプリントは再開されますので、そのままお待ちください。プリント用紙には触れないでください。
- プリント終了後は、裁断されたプリント用紙をそのままにしておかず、1枚ずつ取り除いてください。そのままにしておくと、紙づまりの原因になります。

■ 前面カバーボックス、スリットボックス

- プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめに切りくずを捨ててください。

■ ペーパートレイ

- ペーパートレイは、裁断されたプリント用紙を一時的にためておくためのものです。プリント用紙がこぼれ落ちたり、プリントした順にたまらないことがあります。

■ 露付きが起こった場合は(本機の内部に水滴が付くことを露付きといいます)

- 露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙やインクリボンの表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。プリント用紙が装着されているときは、用紙を取り出してください。
- 露付きは次のようなときに起こります。
 - 部屋を急激に暖房したとき
 - エアコンなどの冷風を直接当てたとき
 - 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きしたプリント用紙およびインクリボンは正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙とインクリボンに取り替えてください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

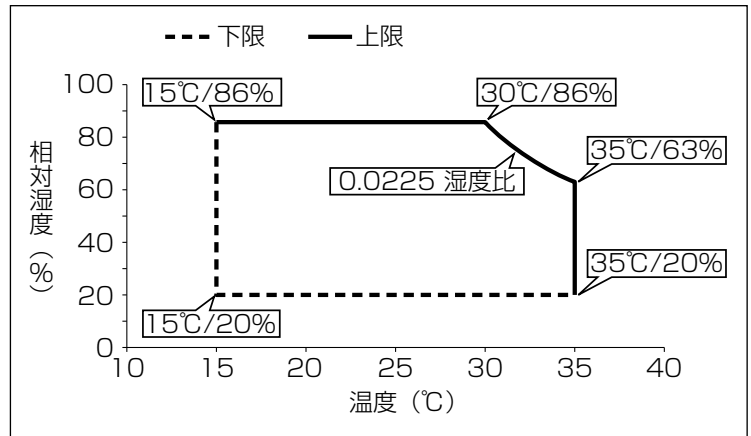
その他

もくじ

使いかた

■ 動作周囲温度 / 湿度範囲について

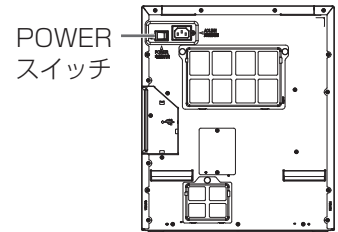
- 周囲温度 / 湿度は、右図の範囲内でお使いください。
 - 15°C / 20% ~ 86% RH
 - ⋮
 - 30°C / 20% ~ 86% RH
 - ⋮
 - 35°C / 20% ~ 63% RH
- 本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。
- 低温でご使用の際は、プリント開始までに多少時間がかかることがあります。



電源の入 / 切


本機後面のPOWERスイッチを押して、本機の電源を入 / 切します。

- 本機前面のコントロールパネルのPOWERインジケータがオレンジ点灯からグリーン点灯に変わったら、プリントできます。



電源を切るときは、プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因になります。

⚠ 注意

 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく
火災の原因になります。

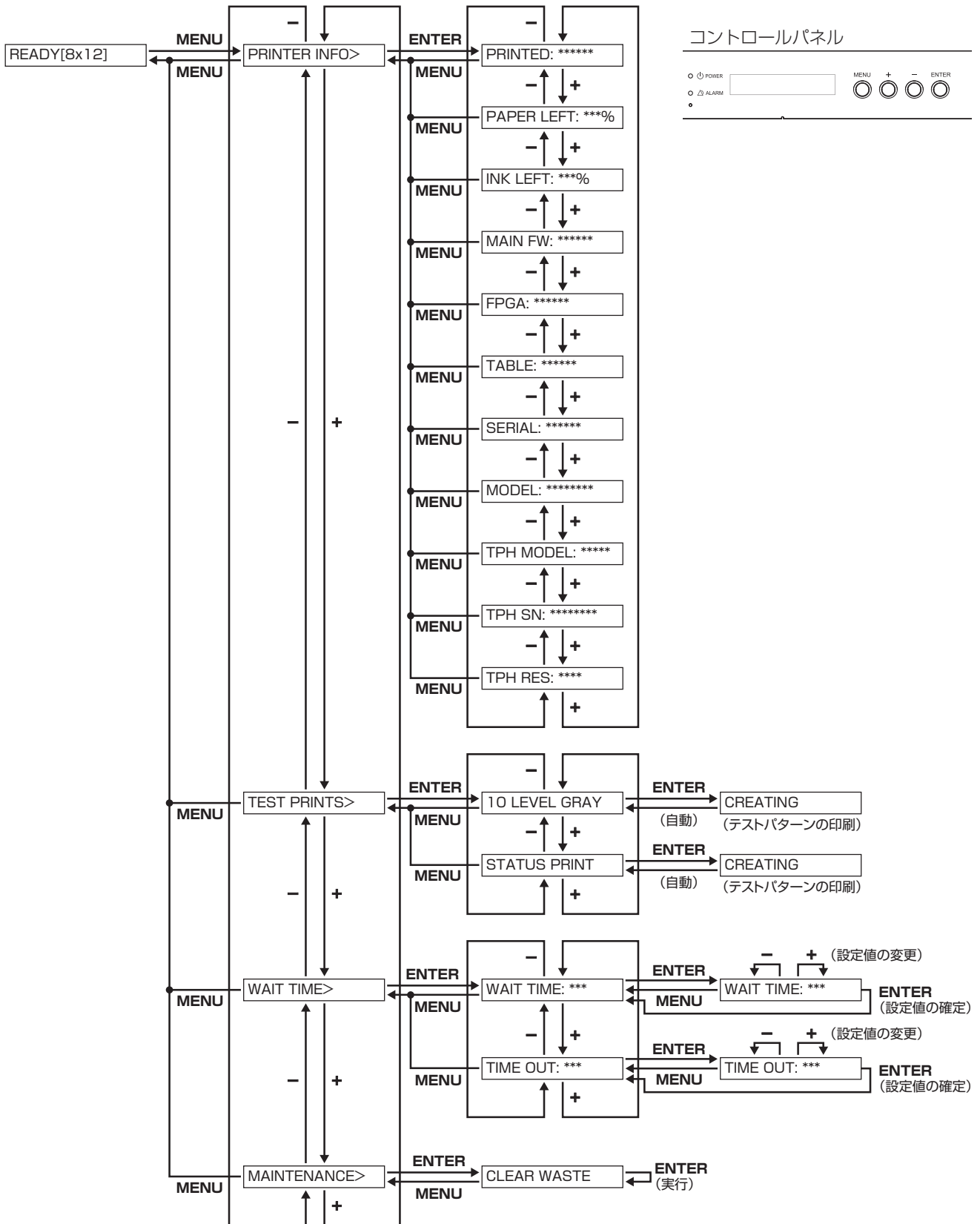
プラグを
抜く

安全・お願い
各部の名称
開梱
準備
使いかた
お手入れ
故障かな？
その他
もくじ

操作ボタンと液晶ディスプレイ

本機の設定を確認・変更するには、コントロールパネルのボタンと液晶ディスプレイを使用します。

※：太字は操作ボタンを示しています。



安全・お願い
各部の名称
開梱
準備
使いかた
お手入れ
故障かな？
その他
もくじ

液晶ディスプレイの表示の説明

表示	説明
READY[8x12]	本機の電源が入っていて、プリントする準備ができています。 [8x12]は、装着されているインクリボンのサイズを表します。
PRINTED: *****	***** は、本機の製造後にプリントされた総数を表します。 このカウンターは、リセットできません。
PAPER LEFT: ***%	***%は、プリントに使用可能なプリント用紙の割合を表します。
INK LEFT: ***%	***%は、プリントに使用可能なインクリボンの割合を表します。
MAIN FW: *****	***** は、本機の制御ファームウェアのバージョン番号を表します。
FPGA: *****	***** は、FPGA ファームウェアのバージョン番号を表します。
TABLE: *****	***** は、印刷パラメーターテーブルのバージョン番号を表します。
SERIAL: *****	***** は、本機の製造番号を表します。
MODEL: *****	***** は、本機の形名を表します。
TPH MODEL: *****	***** は、サーマルヘッドの形名を表します。
TPH SN: *****	***** は、サーマルヘッドの製造番号を表します。
TPH RES: ****	**** は、サーマルヘッドの抵抗値を表します。
10 LEVEL GRAY	テスト印刷をするために、ENTER ボタンを押します。
STATUS PRINT	テスト印刷をするために、ENTER ボタンを押します。
WAIT TIME: ***	待機時間の設定 (0 ~ 999 秒) を変更するには、ENTER ボタンを押します。工場出荷時の設定は 10 秒です。 待機時間は、プリント用紙に複数の画像を組み合わせる場合に、画像データ受信後に次の画像データを待つ時間の長さです。 次の画像データを待機時間で設定した時間内に受信できなかった場合は、受信できている画像だけをプリントします。
TIME OUT: ***	タイムアウトの設定 (1 ~ 999 秒) を変更するには、ENTER ボタンを押します。工場出荷時の設定は 300 秒です。 タイムアウトは、両面プリントをする場合に、A面の画像データを受信後にB面の画像データを待つ時間の長さです。 B面の画像データをタイムアウトで設定した時間内に受信できなかった場合は、A面の画像だけプリント (片面印画) します。
CLEAR WASTE	縦カッターゴミ出口に紙づまりが発生した場合、つまった切りくずを簡単に除去するためにENTER ボタンを押します。

お知らせ

- 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、「[前面インジケータと液晶ディスプレイの表示と処置](#)」(P.31 ページ) をご覧ください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

切りくずを捨てるときは

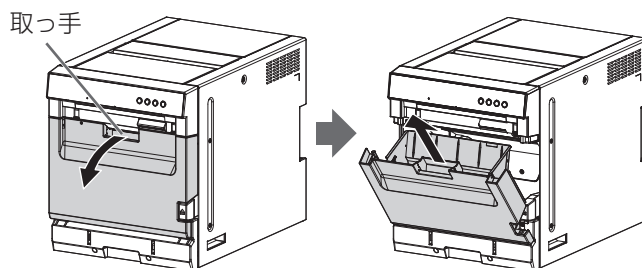
お願い

- プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめに前面カバーボックスやスリットボックスの切りくずを捨ててください。
- インクリボンとプリント用紙を交換するときは、必ず前面カバーボックスの切りくずを捨ててください。

前面カバーボックス

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (P. 19 ページ)
- 2 本機の電源が切れている場合は、本機後面のPOWERスイッチを押して、本機の電源を入れる
コントロールパネルのPOWERインジケーターが、オレンジ点灯からグリーン点灯に変わるまでお待ちください。
- 3 コントロールパネルのENTERボタンを長押しして、前面カバーボックスのロックを解除する

- 4 前面カバーボックスの取っ手に手をかけて、前面カバーボックスを手前に開く
そのあと、前面カバーボックスを持ち上げるようにして取り外す
前面カバーボックスを無理に引っ張らないでください。



お願い

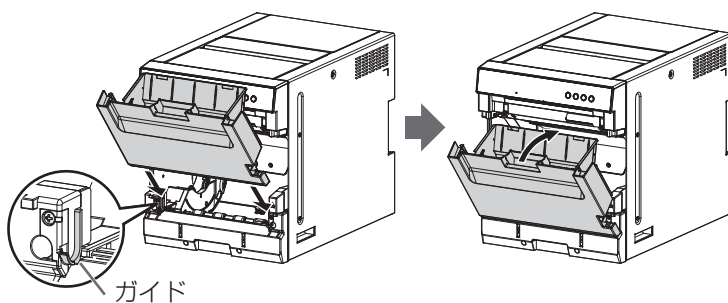
- 切りくずがたまると前面カバーボックスが重くなるため、前面カバーボックスを取り外すときは前面カバーボックスを落とさないよう気を付けてください。

- 5 前面カバーボックス内の切りくずを捨てる

- 6 前面カバーボックスを取り付ける
前面カバーボックスの両側下部の突起を、スライドア下部両側のガイドに合わせて挿入し、前面カバーボックスを閉じます。

お願い

- 前面カバーボックスが、正しく取り付けられていることを確認してください。
紙づまりの原因になります。



- 7 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (P. 18 ページ)

スリットボックス

- 1 ペーパートレーにアタッチメントを取り付けている場合は、アタッチメントを取り外す
そのあと、ペーパートレーからスリットボックスを持ち上げて外す
(「ペーパートレーの取り外しかた」(P. 19 ページ) の手順1、2を参照)
- 2 スリットボックス内の切りくずを捨てる
- 3 ペーパートレーにスリットボックスを挿入する
そのあと、必要に応じてペーパートレーにアタッチメントを取り付ける
(「ペーパートレーの取り付けかた」(P. 18 ページ) の手順3、4を参照)

インクリボン/プリント用紙の取り扱いについて



「安全のために必ず守ること」の「取り扱い」(P.4~7ページ)の内容も、よくお読みください。

■ プリント前

- プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。
- 本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。
- プリント用紙の装着を繰り返したり、プリント用紙を途中で交換した場合は、所定の枚数分のプリントができなくなることがあります。(プリント用紙をセットするたびに、本機の動作確認で用紙を約60cm排紙するため、使用できる用紙の長さが短くなります。)

■ プリント後

- 紙が有機溶剤(アルコール・エステル・ケトン類など)を吸収すると、画像が退色します。
- セロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなります。
- プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ 保管

- プリント用紙やインクリボンは軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で脱色します。
- プリント用紙やインクリボンは直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5℃~30℃、湿度20%~60%RHの冷暗所で保管してください。

インクリボンを交換するときは

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (P.19ページ)
- 2 インクリボンを交換する
(「インクリボン(別売品)を入れる」(P.13ページ)を参照)
- 3 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (P.18ページ)

プリント用紙を交換するときは

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (P.19ページ)
- 2 プリント用紙を交換する
(「プリント用紙(別売品)を入れる」(P.15ページ)を参照)
- 3 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (P.18ページ)

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

お手入れ

本機のお手入れ

⚠ 注意



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う感電の原因になります。

- 前面パネル部分の汚れは柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

本機内部のクリーニング

本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。クリーニングするときは、けがを防ぐため手袋を着用することをおすすめします。

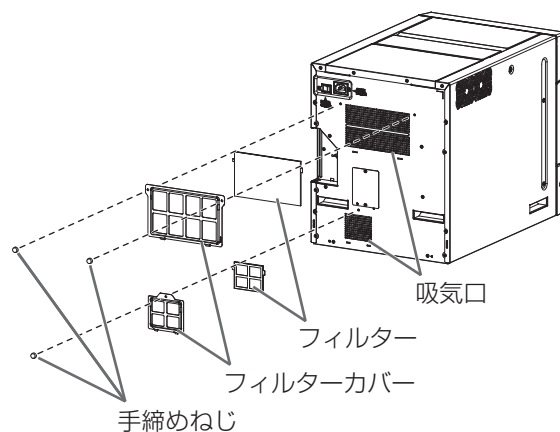
お願い

- クリーニングの前に本機後面のPOWERスイッチを押して、必ず電源を切ってください。

フィルターのクリーニング

以下のようにフィルター部分と吸気口を掃除機でクリーニングしてください。

- 1 本機後面のフィルターカバー両端の手締めねじをゆるめ、フィルターカバーを外す
- 2 フィルターカバーからフィルターを外す
- 3 フィルターの両面を掃除機で清掃する
- 4 かたく絞った布で、本機後面の吸気口を拭く
- 5 フィルターカバーにフィルターを取り付ける
- 6 本機にフィルターカバーを取り付け、手締めねじでフィルターカバーを固定する



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

お手入れ

サーマルヘッドのクリーニング

準備するもの

- アルコール(エチルアルコールなど)
- 柔らかいきれいな布

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ)
- 2 スライドドアを開け、インクカセットを取り外す
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(☞ 13ページ)の手順1、2を参照)
- 3 天面カバーを開く
- 4 布を少量のアルコールで湿らせ、慎重にヘッド清掃部(右図参照)を拭く

お願い

- サーマルヘッドをクリーニングするときは、サーマルヘッド下部にある剥離ローラーに強い力が加わらないようにしてください。剥離ローラーが変形し、画質劣化の原因になることがあります。

- 5 アルコールが乾いたら、天面カバーを閉じる
- 6 インクカセットを挿入し、スライドドアを押して閉める
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(☞ 13ページ)の手順4、5を参照)
- 7 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (☞ 18ページ)

お願い

- サーマルヘッドに傷をつけないようにしてください。
- インクカセットの取り出し時や挿入時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

お知らせ



サーマルヘッドは、静電気に弱いので気を付けてください。

静電気が発生した状態でサーマルヘッドに触れると、故障する場合があります。

- サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると、鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。
- サーマルヘッドをクリーニングしてもプリント画質が改善されない場合は、サーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。

注意



接触禁止

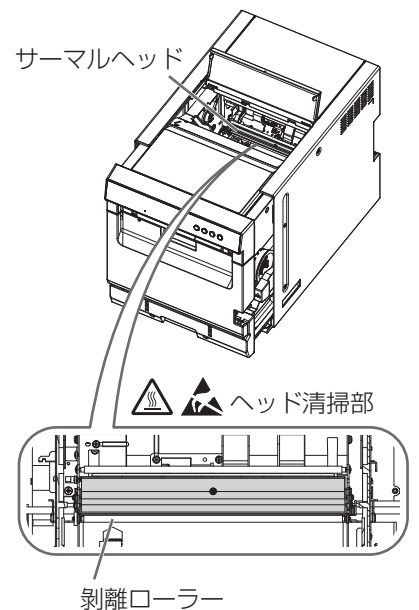
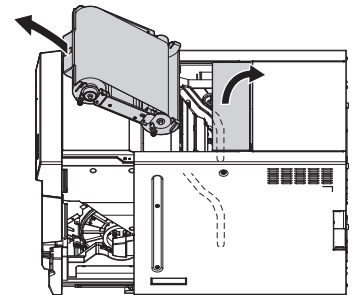


高温注意

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない
サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外
は触れない

高温になっている場合があります、触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

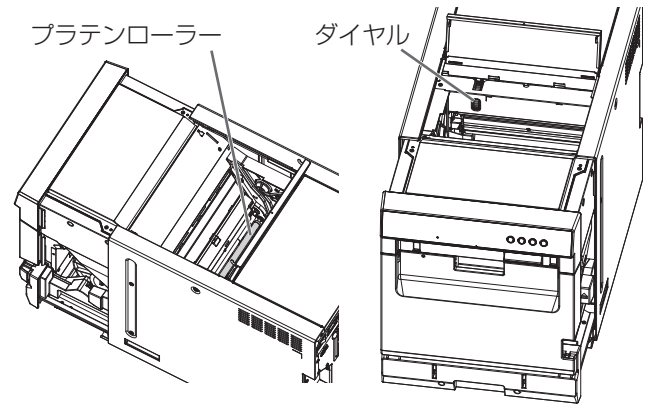
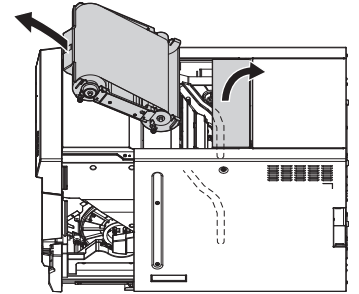
お手入れ

プラテンローラーのクリーニング

準備するもの

- アルコール(エチルアルコールなど)
- 柔らかいきれいな布

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ)
- 2 スライドドアを開け、インクカセットを取り外す
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(☞ 13ページ)の手順1、2を参照)
- 3 天面カバーを開く
- 4 プラテンローラー表面の黒い部分を拭く
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。
ダイヤルを回して、ローラーを回転させながらローラー全体を拭いてください。
- 5 アルコールが乾いたら、天面カバーを閉じる
- 6 インクカセットを挿入し、スライドドアを押して閉める
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(☞ 13ページ)の手順4、5を参照)
- 7 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (☞ 18ページ)



お願い

- インクカセットの取り出し時・挿入時や、プラテンローラーの清掃時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。
サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

注意



接触禁止 高温注意

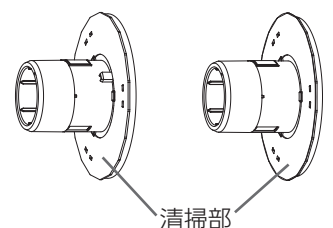
プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない
サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない

高温になっている場合があります、触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)

ペーパーフランジのクリーニング

- 1 プリント用紙に触れている部分(右図参照)を拭く
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

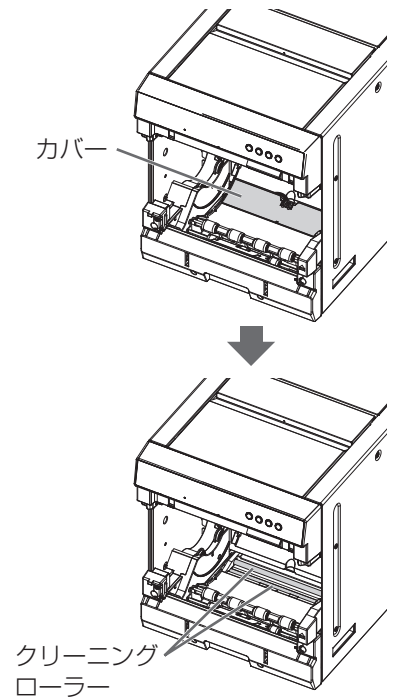
もくじ

クリーニングローラーのクリーニング

準備するもの

- アルコール(エチルアルコールなど)
- 柔らかいきれいな布

- 1 ペーパートレイを取り付けている場合は、ペーパートレイを取り外す
([19ページ](#))
- 2 前面カバーボックスを取り外す
(「プリント用紙(別売品)を入れる」([15ページ](#)))の手順1~4を参照)
- 3 プリント用紙を取り出す
- 4 クリーニングローラーのカバーを取り外す
- 5 クリーニングローラーを清掃する
中にある2本の黒いローラーが、クリーニングローラーです。
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。
ローラーを回転させて、ローラー全体を拭いてください。
- 6 アルコールが乾いたら、クリーニングローラーのカバーを取り付ける
- 7 新しいプリント用紙を装着する
そのあと、前面カバーボックスを取り付ける
(「プリント用紙(別売品)を入れる」([15ページ](#)))の手順5~8を参照)
- 8 ペーパートレイを取り付けていた場合は、ペーパートレイを取り付ける
([18ページ](#))



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

消耗部品について

本機の消耗部品については、保証書をご覧ください。
消耗部品の交換については、お買い上げの販売店へご相談ください。

故障かな？と思ったら

前面インジケータと液晶ディスプレイの表示と処置

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は、本機前面のインジケータが点灯または点滅し、液晶ディスプレイにメッセージを表示します。その場合は、下表を参考に処置を行ってください。

○：点灯 ●：消灯 ○●：点滅

ALARM インジケータ	POWER インジケータ	液晶 ディスプレイ	原因	処置	参照 ページ
●	○ (オレンジ)	—	本機がスタンバイ状態になっている。	USBケーブルが本機に接続されていない場合は、ケーブルを接続してください。 画像のデータを転送してからプリントできる状態になるまで、時間がかかることがあります。	20
●	○ (グリーン)	COOLING	サーマルヘッドの温度が高くなった。	しばらくお待ちください。メッセージが消えると、自動的にプリントが再開されます。	—
		WARM UP	サーマルヘッドの温度が低くなった。	しばらくお待ちください。メッセージが消えると、自動的にプリントが再開されます。	—
		WASTE REM	縦カッターゴミ出口に切りくずが残っている。	縦カッターゴミ出口から切りくずを手で取り除いてください。	8
●	○● (グリーン)	INITIALIZING	初期化中。	しばらくお待ちください。メッセージが消えると、準備完了となります。	—
○	○ (グリーン)	INK EMPTY	インクリボンが装着されていない。	インクリボンを装着してください。	13
		INK END 0	インクリボンが終了した。	新しいインクリボンに交換してください。	26
		INK END			26
		INK END -	インクリボンの残量が印画に必要な分だけない。	新しいインクリボンに交換してください。	26
		INK ERROR	インクリボンのエラー。	正しいインクリボンを、正しく装着してください。 または、「紙づまりの処置」をご覧ください。	13 34
		F.DOOR OPEN	前面カバーボックスが開いている。	前面カバーボックスを閉じてください。	17
		PAPER EMPTY	プリント用紙が装着されていない。	プリント用紙を装着してください。	15
		T.DDOR OPEN	天面カバーが開いている。	天面カバーを閉じてください。	8
		S.DDOR OPEN	スライドドアが開いている。	スライドドアを閉めてください。	14
		C.COVER OPEN	クリーニングローラーのカバーが外れている。	クリーニングローラーのカバーを取り付けてください。	30
		PAPER END	プリント用紙が終了した。	新しいプリント用紙に交換してください。	26
		PAPER REM	本機の中にプリント用紙が残っている。	プリント用紙を取り除いてください。	34
PAPER JAM	紙づまりが発生した。	「紙づまりの処置」をご覧ください。	34		

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

故障かな？と思ったら

○：点灯 ●：消灯 ○●：点滅

ALARM インジケータ	POWER インジケータ	液晶 ディスプレイ	原因	処置	参照 ページ
○	○ (グリーン)	MECHA ERROR	機械的なエラーが発生した。	本機の電源を落とし、10秒以上経過したあと、本機の電源を入れてください。 または、「紙づまりの処置」をご覧ください。	— 34
○	○ (グリーン)	PREHEAT	フォトサポートセンターによる処置が必要な問題が起きた。	本機の電源を落とし、10秒以上経過したあと、本機の電源を入れてください。 それでもメッセージが変わらない場合は、フォトサポートセンターに連絡してください。その際、以下をお伝えください。 <ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイに表示されるエラーコード番号 本機の形名（本機後面の定格銘板に表示されています） 本機の製造番号（本機後面の製造番号ラベルに表示されています） 	— 36
		THERM PRCT			
		TPH HIGH			
		TPH LOW			
		ENVIRN HIGH			
		ENVIRN LOW			
		HUMID HIGH			
		HUMID ERROR			
		SENSOR ERROR			
		DMA ERROR			
		EEPROM ERROR			
		LCD ERROR			
		FLASH ERR			
		T.ACCESS ERR			
FW ERR					
●	○● (オレンジ)	FAN LOCK			
		MDA ERROR			
		VOLTAGE ERROR			

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。故障の状況とインジケータの表示状態を、お買上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- プリント用紙のロールが多少残っていても、液晶ディスプレイに「PAPER END」と表示されることがありますが、故障ではありません。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

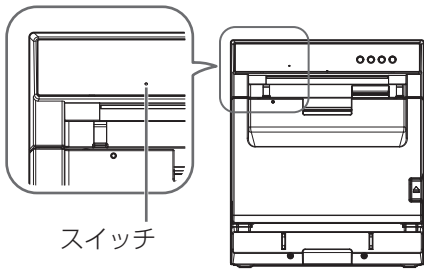
故障かな？

その他

もくじ

修理を依頼する前に

このようなときは、下表を参考にもう一度点検してください。

症 状	確 認	処 置
電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 保護回路がはたらいている場合がありますので、電源を切って約2分間お待ちください。その後電源を入れてください。
スライドドアが開かない。	本機の動作中に電源を切っていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れてから、スライドドアを開けてください。
プリントできない。	ALARM インジケータが点灯または点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 「前面インジケータと液晶ディスプレイの表示と処置」(P.31 ページ)をご覧ください。
	適切なサイズの画像をデータ転送していますか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください。
	インクリボンまたはプリント用紙が終了していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください
	スライドドアは確実に押し込まれていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください。
	—	<ul style="list-style-type: none"> 上記の操作を行ってもインジケータの点灯または点滅が解除できないときは、インクリボンとプリント用紙を取り出し、再度装着してください。
エラーが解除できない。	—	<ul style="list-style-type: none"> スライドドアが確実に押し込まれた状態で一度電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。本機が初期化されます。
		<ul style="list-style-type: none"> 本機前面の穴の内部にあるスイッチを、細い棒などで5秒以上押してください。エラーが解除されます。 <div style="text-align: center;">  <p>スイッチ</p> </div>

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

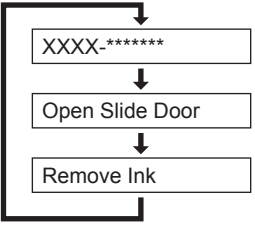
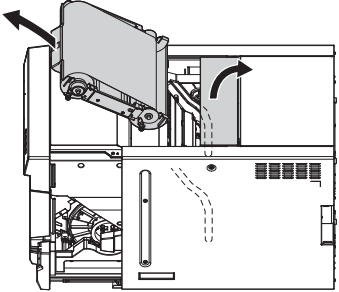
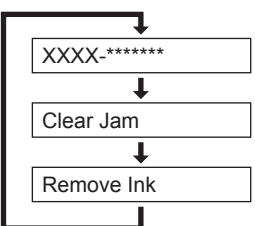
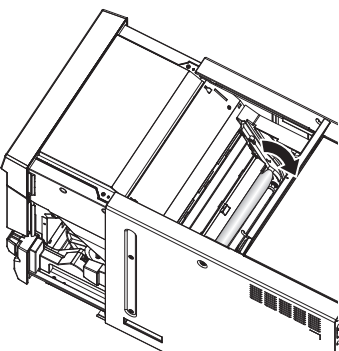

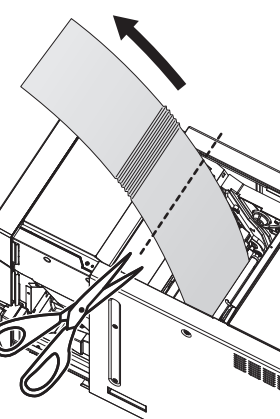
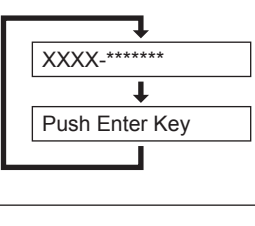
その他

もくじ

紙づまりの処置

本機前面の液晶ディスプレイの表示に従って、処置を行ってください。

XXXX：エラーコード番号 *****：エラー表示

液晶ディスプレイ	処 置	
	<ol style="list-style-type: none"> ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ) スライドドアを開け、インクカセットを取り外す 〔インクリボン (別売品) を入れる〕(☞ 13ページ) の手順1、2を参照) 天面カバーを開く 	
	<ol style="list-style-type: none"> プラテン部分に紙があることを確認して、紙を上から下に引き出す 紙を破らないように気を付けてください。紙が本機内部に残ると、紙づまりの原因になります。 引き出した部分をはさみで切り取る なるべく切り口がまっすぐ水平になるように切ってください。 	
	<ol style="list-style-type: none"> コントロールパネルのENTER ボタンを長押しして、前面カバーボックスのロックを解除する 	
	<ol style="list-style-type: none"> 前面カバーボックスを取り外す 〔プリント用紙 (別売品) を入れる〕(☞ 15ページ) の手順4を参照) 	

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

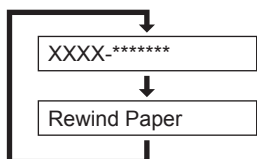
お手入れ

故障かな？

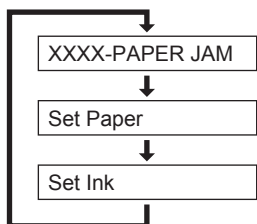
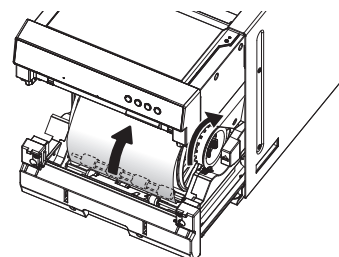
その他

もくじ

液晶ディスプレイ	処 置
----------	-----



- 1 ペーパーフランジを矢印の方向に回して、紙を巻き取る
本機から完全に引き抜いてください。



- 1 プリント用紙を入れる
〔プリント用紙(別売品)を入れる〕(P.15ページ)の手順5、6を参照
スライドドア下部手前の青色インジケーターが点灯するところまで挿入してください。
- 2 インクリボンを入れる
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(P.13ページ)の手順4を参照
たるみがある場合は、取っ手側のシャフトを回し、たるみを取ってから入れてください。

S.DOOR OPEN

- 1 天面カバーを閉じる
- 2 スライドドアを閉める
〔インクリボン(別売品)を入れる〕(P.13ページ)の手順5を参照
スライドドアを閉めるとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。

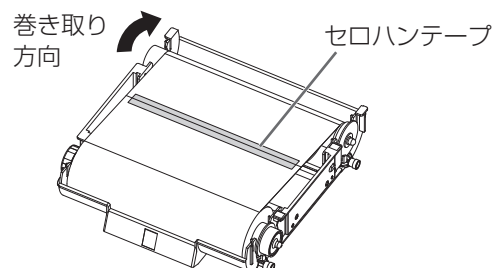
F.DOOR OPEN

- 1 前面カバーボックスを取り付ける
〔切りくずを捨てるときは〕-〔前面カバーボックス〕(P.25ページ)の手順6を参照
- 2 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける
(P.18ページ)

前面カバーボックスを取り付けると、初期化が始まって自動的に用紙がフィード&カットされます。この動作には時間がかかる場合がありますので、液晶ディスプレイの表示が「READY」になるまで、しばらくお待ちください。

インクリボンが切れたときの処置

- 1 インクカセットをゴミやほこりのないきれいな場所に置く
- 2 透明なセロハンテープなどを使って、インクリボンの切れた両端を図のように中央1カ所につなぐ
- 3 セロハンテープを貼った部分が見えなくなるまで、インクリボンの軸を矢印方向に回す
- 4 インクカセットを本機に装着する



安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

デジタルカラープリンター本体の保証期間は、お買上げ日から1年間です。

消耗部品によっては保証期間が異なりますので、保証書をご覧ください。

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- なお、デジタルカラープリンター本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害(プリントされなかった内容の補償など)の責については、ご容赦ください。

■補修性能部品の保有期間

- 当社は、デジタルカラープリンターの補修性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店にご相談ください。

■修理を依頼される時は(持込修理)

- 「故障かな?と思ったら」(P.31ページ)にしたがって、お調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

商品と保証書をご準備のうえ、お買上げの販売店に依頼してください。商品を引き取りに伺います。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。消耗部品の交換も有料となります。

●修理料金は

修理料金は、技術料+部品代(+配送代)などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 配送代…製品の引き取り、返却時の配送費用です。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

また、アフターサービスもできません。

取扱い・修理のご相談は(デジタルカラープリンター)

取扱い・修理のご相談は、お買上げの販売店へ

- お買上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、三菱電機フォトサポートセンターへ修理をご依頼ください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 CP-W5000D の修理の依頼

●三菱電機フォトサポートセンター

フリーダイヤル



0120-361-210(無料)

受付時間 / 9:00~12:00・13:00~19:00(年末年始を除く)

携帯電話・PHSの場合

TEL 075-953-9301(有料)

技術的なお問合せは

●三菱電機VCPテクニカルセンター

フリーダイヤル



0120-710-391(無料)

受付時間 / 9:30~12:00・13:30~17:00
(土・日・祝日・弊社休日を除く)

携帯電話・PHSの場合

TEL 075-353-0666(有料)

FAX 075-353-0685(有料)

E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

●電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S14B-VCP

■ INTERNET INFORMATION ■ この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバーでもご提供しています。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp/>

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

本機を移動・輸送するときは

本機を移動するとき

注意



禁止

接続したまま本機を移動しない

電源コードが傷ついて火災・感電の原因になります。
また、つまずいてけがの原因になります。

電源コードや接続ケーブルを外したことを確認してから、移動してください。



禁止

前面カバーボックス、スライドドアを開けたままにしない

ぶつかって、けがの原因になります。



確実に
閉める



手はさみ
注意

スライドドアは、確実に押し込んで閉める

スライドドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにスライドドアが開き、けがの原因になります。

スライドドアを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

本機を輸送するとき

引っ越しや修理などで本機を輸送する場合は、以下の項目を必ずお守りください。

1. 純正の梱包材を使用してください。

- 梱包材は、1往復程度の使用は可能ですが、それ以上の使用は輸送条件によっては製品の保証ができなくなる場合があります。本機を再び輸送する場合は、梱包材を別途ご購入ください。
- インクカセットおよびプリント用紙を取り出してから梱包してください。
- ペーパートレイなど、取り外すことができる部品を取り外してください。

2. 前面カバーボックスおよびスライドドアを確実に閉じてください。

スライドドアを閉じるとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。

また、誤ってリリースボタンに触れないでください。

注意



確実に
閉める



手はさみ
注意

スライドドアは、確実に押し込んで閉める

スライドドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにスライドドアが開き、けがの原因になります。

スライドドアを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

3. インクカセット、プリント用紙を本機から取り出すことができない場合は、

三菱電機 VCP テクニカルセンターに相談してください。

別売品

別売品のご購入については、お買上げの販売店でお求めください。

- インクリボン PK5812
- プリント用紙 (ペーパー) CK5000

安全・お願い

各部の名称

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

仕様

種類	デジタルカラープリンター		
形名	CP-W5000D		
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画 (イエロー、マゼンタ、シアン) + 表面保護コーティング 解像度 300 × 300 DPI (DPI : Dots Per Inch)		
転送画素数	ワイド六切版	(8 × 12 インチ)	2464 × 3624 dots
	A4版	(8 × 11.7 インチ)	2464 × 3534 dots
		(8 × 11 インチ)	2464 × 3324 dots
	六切版	(8 × 10 インチ)	2464 × 3024 dots
		(8 × 8 インチ)	2464 × 2424 dots
	A5版	(8 × 6 インチ)	2464 × 1824 dots
		(8 × 4 インチ)	2464 × 1224 dots
	2L版	(7 × 5 インチ)	2164 × 1524 dots
		(6.8 × 9.6 インチ)	2104 × 2904 dots
		(6.8 × 4.8 インチ)	2104 × 1464 dots
		(6 × 12 インチ)	1864 × 3624 dots
		(6 × 6 インチ)	1864 × 1824 dots
	KG版	(6 × 4 インチ)	1864 × 1224 dots
印画サイズ ※1	ワイド六切版	(8 × 12 インチ)	203 × 305 mm (縁なし)
	A4版	(8 × 11.7 インチ)	203 × 297 mm (縁なし)
		(8 × 11 インチ)	203 × 279 mm (縁なし)
	六切版	(8 × 10 インチ)	203 × 254 mm (縁なし)
		(8 × 8 インチ)	203 × 203 mm (縁なし)
	A5版	(8 × 6 インチ)	203 × 152 mm (縁なし)
		(8 × 4 インチ)	203 × 102 mm (縁なし)
	2L版	(7 × 5 インチ)	178 × 127 mm (縁なし)
		(6.8 × 9.6 インチ)	173 × 244 mm (縁なし)
		(6.8 × 4.8 インチ)	173 × 122 mm (縁なし)
		(6 × 12 インチ)	152 × 305 mm (縁なし)
		(6 × 6 インチ)	152 × 152 mm (縁なし)
	KG版	(6 × 4 インチ)	152 × 102 mm (縁なし)
階調数	各色 256 階調		
給紙方法	自動給紙		
インターフェイス	Hi-Speed USB (Ver. 2.0)		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電流	5.5 A		
使用環境条件	温度 / 湿度 (結露なし) 15°C/20% ~ 86% RH ~ 30°C/20% ~ 86% RH ~ 35°C/20% ~ 63% RH		
設置条件	動作姿勢水平 ± 5°		
外形寸法 ※1	幅 342 mm × 奥行 509 mm × 高さ 402 mm (ペーパートレイを除く)		
質量	約 29 kg (付属品を除く)		
付属品	電源コード (1 本)、インクカセット (1 個)、ペーパーフランチ (左右各 1 個)、ペーパートレイ (1 個)、スリットボックス (1 個)、ブラケット (1 個)、アタッチメント (1 個)、CD-ROM (1 枚)、クイックセットアップ (1 枚)、3ピン→2ピン変換アダプター (1 個)、保証書 ※2		

※1 印画サイズおよび外形寸法は、標準値を記載しています。

※2 保証書は外装箱に貼付されています。ご確認ください。

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

■ CD-ROM (付属品) の内容

- 取扱説明書
- プリンタードライバー
- プリンタードライバーガイド

安全・
お願い

各部の
名称

開
梱

準
備

使
い
か
た


お
手
入
れ

故
障
か
な
?

そ
の
他

も
く
じ

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

	愛情点検 ●長年ご使用のデジタルカラープリンターの点検を！	<small>（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）</small>
	こんな症状はありませんか <ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、表示が出ない。 ●その他の異常・故障がある。 	ご使用中止 <p>事故防止のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから外して、販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地

J919C194D10